

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)

【公開番号】特開 2010-241755 (P2010-241755A)

【公開日】平成 22 年 10 月 28 日 (2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報 2010-043

【出願番号】特願 2009-94100 (P2009-94100)

【国際特許分類】

C 0 7 C 13/62 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 13/62 C S P

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

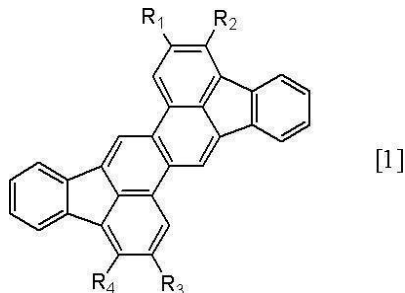
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式 [1] で示されることを特徴とする縮合多環化合物。

【化 1】



(一般式 [1] において、

R_1 乃至 R_4 のうち少なくとも 1 つは、アリール基、複素環基から選ばれた基であり、それぞれ同じであっても異なってもよい。

前記アリール基と前記複素環基は置換基を有してもよく、前記置換基は、アルキル基、アラルキル基、アリール基、複素環基、アミノ基、アルコキシ基から選ばれる。)

【請求項 2】

前記一般式 [1] において、

R_2 及び R_4 が水素原子である。

R_1 及び R_3 のうち少なくとも 1 つは、前記アリール基、前記複素環基から選ばれた基であり、それぞれ同じであっても異なってもよいことを特徴とする請求項 1 に記載の縮合多環化合物。

【請求項 3】

陽極および陰極と、前記陽極および前記陰極の間に配置された有機化合物層を有する有機発光素子において、

前記有機化合物層が、請求項 1 乃至 2 のいずれか 1 項に記載の縮合多環化合物を少なく

とも有することを特徴とする有機発光素子。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に電気信号を供給する手段と、を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の有機発光素子と、受光素子を有し、前記有機発光素子がファインダーに用いられることを特徴とする撮像装置。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の有機発光素子をアレイ状に有しそれぞれ独立にアドレスできる手段を有する光源と、感光ドラムと、を有するプリンター。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(一般式[1]において、

R_1 乃至 R_4 のうち少なくとも1つは、アリール基、複素環基から選ばれた基であり、それぞれ同じであっても異なってもよい。

前記アリール基と前記複素環基は置換基を有してもよく、前記置換基は、アルキル基、アラルキル基、アリール基、複素環基、アミノ基、アルコキシ基から選ばれる。)